

平成 22 年 5 月 20 日現在

研究種目：基盤研究（A）
 研究期間：2007 ～ 2010
 課題番号：19202009
 研究課題名（和文） 源氏物語の研究支援体制の組織化と本文関係資料の再検討及び新提言のための共同研究
 研究課題名（英文） The organization of the study support system of The Tale of Genji and the reexamination of the text-related document and a collaboration for new proposals
 研究代表者 豊島 秀範 (TOYOSHIMA HIDENORI)
 國學院大學・文学部・教授
 研究者番号：90133272

研究代表者の専門分野：人文学
 科研費の分科・細目：文学・日本文学
 キーワード：古代文学

1. 研究計画の概要

- (1) 海外を含めた『源氏物語』の研究者との共同研究の場を育成する。
- (2) 『源氏物語』の諸伝本間の位相を、本文異同の実態を踏まえて提示する。
- (3) 大学院生などの若手の研究者を育てるために効果的なプログラムを導入する。

2. 研究の進捗状況

(1) 海外を含む共同研究会は、平成 19 年度は福岡女子大学にて、平成 20 年度にはイタリアのヴェネツィア大学にて、21 年度は名古屋市の中京大学と、イギリスのケンブリッジ大学・ロビンソンカレッジにて共同研究会を共同開催した。また、21 年度にはアメリカのワシントン DC の議会図書館にて、同図書館所蔵の源氏物語の写本 54 巻の本文調査と写真撮影および共同研究会を行った。

(2) 『源氏物語』の諸伝本については、平成 19～20 年度は文化庁所蔵の「平瀬本」の翻刻、21 年度は「七毫源氏」の翻刻を終え、「平瀬本」についてはテキスト版の印刷に向けて作業を進めている。なお『報告書』には、19 年度は「平瀬本」の「匂宮」「橋姫」両巻の翻刻を載せ、20 年度は「早蕨」巻の主要 11 本の対校本文を掲載、21 年度は「柏木」巻の 11 本の対校本文を翻刻して掲載した。これらの本文の翻刻・データ作成は、大学院生が中心となって研究作業を行ったものである。22 年度には岩国市吉川史料館が所蔵する「吉川家本」の翻刻を進めつつある。

(3) 若手研究者の養成では、平成 19 年度には共同研究会を 6 回開催したが、そのうちの第 2 回、第 5 回を若手研究者の発表を中心とし計 4 名の大学院生が研究発表をした。平成 20 年度はイタリアでの国際学会を含めて 3

回の研究会を行い、計 4 名の大学院生が発表をした。平成 21 年度は、第 10 回～14 回まで計 5 回の共同研究会を開催し、ケンブリッジ大学・ロビンソンカレッジでの発表も含めて計 6 名の大学院生など若手の研究者が発表している。なお、毎回の共同研究会の司会は大学院生が務めている。以上のように、中心となる 7 名の研究者はもちろんのことだが、若手の研究者に対しても発表の場を設けるように配慮し、その成果を上げている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

当初の予定通り「平瀬本」「七毫源氏」の翻刻を終え、「吉川家本」の写真撮影も済み翻刻を進めつつある。ただし、それらの本文を中心に、本文異同の実態を踏まえて諸伝本間の位相を提示する作業の効率化が求められている。

4. 今後の研究の推進方策

本年度は、河内本「吉川家本」の翻刻を終えることと、翻刻を終えた伝本を中心としつつ主要伝本の本文異同の実態を提示するための対校本文の作成を進める。そして、その成果を公表できる方法を模索していく。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 54 件)

(1) 遠藤和夫 『湖月抄』の注釈における当代語—桐壺・『細流抄』を中心として—、『國學院雑誌』(國學院大學)、査読有、第 109 巻

—第10号、1～10頁。

(2) 伊藤鉄也「源氏物語本文の伝統と受容に関する試論—「須磨」における〈甲類〉と〈乙類〉の本文異同一」『源氏物語の新研究』（新典社）、査読有、2008年、43～84頁。

(3) 渋谷栄一「定家本「源氏物語」の生成過程について—明融臨模本と大島本「花宴」を中心に—」『國學院雑誌』（國學院大學）査読有、第109巻—10号、99～110頁。

(4) 豊島秀範「『源氏物語』と鎌倉時代物語—物語の収斂と変容—」『講座 源氏物語』（おうふう）、査読無、第4巻、2007年、228～251頁。

〔学会発表〕（計11件）

(1) 豊島秀範「『源氏物語』本文資料の再検討」、國學院大學國文學會 秋季大会、2007年11月17日、國學院大學。

〔図書〕（計7件）

(1) 田坂憲二、風間書房『源氏物語享受史論考』2009年、597頁。

〔産業財産権〕

○出願状況（計 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況（計 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕